



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL https://www.noble-j.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 I R・経理管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,909	15.5	856	46.2	1,004	63.2	506	4.9
29年3月期第3四半期	9,449	△13.3	585	△0.9	615	△25.2	482	△5.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,098百万円(—%) 29年3月期第3四半期 50百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	51.59	51.53
29年3月期第3四半期	49.23	49.17

(注) 平成30年3月期第3四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えているため「—」と記載しております。

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,677	21,396	21,396	21,396	81.6
29年3月期	24,901	20,774	20,774	20,774	81.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 20,941百万円 29年3月期 20,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	6.9	900	14.1	1,000	26.5	500	△29.5	50.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮していません。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 富貴(無錫)電子有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	10,141,833株	29年3月期	10,141,833株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	324,187株	29年3月期	334,218株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	9,811,637株	29年3月期3Q	9,802,501株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第95回定時株主総会において株式併合に関する決議事項が承認可決されたことから、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
 1株当たり配当金 期末 5円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
 1株当たり当期純利益 通期 10円19銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
製品別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、政府の政策動向の不安がありつつも米国が好調に推移したのをはじめ、欧州や中国も安定的に推移しました。

日本経済も企業収益や雇用環境が改善しており、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、好調な車載関連をはじめ、ゲーム機等それ以外の市場も引き続き堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは継続して生産の改善に取り組みつつも、既存技術の発展をはかり、新たな市場への挑戦も続けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は109億9百万円（前年同期比15.5%増）となりました。売上の増加に伴い、営業利益は8億56百万円（前年同期比46.2%増）、経常利益は10億4百万円（63.2%増）となりましたが、特別損失を計上した事により、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

車載関連、ゲーム機用スイッチシートが継続して好調でした。さらに可変抵抗器、固定抵抗器も売上を伸ばす事が出来ました。

この結果、電子部品の売上高は106億13百万円（前年同期比15.7%増）となり、営業利益は8億51百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

ゲーム機向け、ヘルスケア向けが継続して好調で、それ以外についても概ね堅調に推移しました。

この結果、売上高は49億50百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は5億29百万円（前年同期比50.7%増）となりました。

b. アジア

車載関連や、中国でのエアコン、給湯器向けの固定抵抗器が好調で、可変抵抗器についても堅調に推移しました。

この結果、売上高は54億16百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は3億44百万円（前年同期比52.6%増）となりました。

c. 北米

全体的に堅調でしたが、オーディオ向け可変抵抗器が低調でした。

この結果、売上高は2億46百万円（前年同期比8.6%減）、営業損失は0百万円（前年同期は8百万円の営業利益）となりました。

②その他

機械設備の製造販売は、受注確保に努めましたが高付加価値品が振るわず、その他事業の売上高は2億96百万円（前年同期比8.5%増）、営業損失は8百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ7億75百万円増加し256億77百万円となりました。その内訳は、流動資産が28百万円増加し160億47百万円、固定資産が7億47百万円増加し96億30百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加し42億80百万円となりました。その内訳は、流動負債が77百万円増加し27億7百万円、固定負債が75百万円増加し15億73百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ6億22百万円増加し213億96百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と変わらず81.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月14日に公表いたしました平成30年3月期通期の連結業績予想につきまして、本日（平成30年2月14日）公表いたしました「平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,661,124	8,831,170
受取手形及び売掛金	3,073,136	3,537,817
電子記録債権	629,607	643,559
有価証券	—	200,279
商品及び製品	1,139,501	1,217,585
仕掛品	491,856	568,140
原材料及び貯蔵品	549,647	535,439
その他	480,258	520,190
貸倒引当金	△6,702	△7,009
流動資産合計	16,018,431	16,047,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,769,207	1,608,732
機械装置及び運搬具(純額)	1,152,626	1,264,680
その他(純額)	819,244	782,517
有形固定資産合計	3,741,078	3,655,930
無形固定資産		
投資その他の資産	164,852	121,151
投資有価証券	1,949,741	2,836,127
その他	3,032,622	3,022,160
貸倒引当金	△4,890	△4,848
投資その他の資産合計	4,977,473	5,853,439
固定資産合計	8,883,403	9,630,521
資産合計	24,901,835	25,677,694
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,287	633,338
電子記録債務	449,870	569,333
短期借入金	167,710	166,357
未払法人税等	60,259	82,961
賞与引当金	308,718	229,974
役員賞与引当金	10,000	—
その他	755,800	1,025,642
流動負債合計	2,629,647	2,707,608
固定負債		
退職給付に係る負債	228,004	120,626
その他	1,269,732	1,452,566
固定負債合計	1,497,737	1,573,193
負債合計	4,127,384	4,280,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,591,062	11,632,649
自己株式	△822,997	△794,666
株主資本合計	19,677,457	19,747,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	658,032	1,072,056
為替換算調整勘定	△590,268	△514,835
退職給付に係る調整累計額	576,549	637,360
その他の包括利益累計額合計	644,314	1,194,581
新株予約権	6,336	6,148
非支配株主持分	446,343	448,789
純資産合計	20,774,451	21,396,892
負債純資産合計	24,901,835	25,677,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,449,662	10,909,677
売上原価	6,338,428	7,261,735
売上総利益	3,111,233	3,647,942
販売費及び一般管理費	2,525,468	2,791,691
営業利益	585,764	856,250
営業外収益		
受取利息	26,989	30,138
受取配当金	74,256	72,206
受取賃貸料	68,128	65,179
その他	66,992	45,553
営業外収益合計	236,366	213,078
営業外費用		
支払利息	711	852
固定資産賃貸費用	48,036	30,867
為替差損	129,022	19,033
その他	28,509	13,680
営業外費用合計	206,279	64,434
経常利益	615,851	1,004,894
特別利益		
固定資産売却益	84,102	—
関係会社株式売却益	—	58,003
特別利益合計	84,102	58,003
特別損失		
事業構造改善費用	—	172,594
特別退職金	—	232,481
特別損失合計	—	405,075
税金等調整前四半期純利益	699,954	657,821
法人税等	186,631	119,570
四半期純利益	513,322	538,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,779	32,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	482,542	506,184

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	513,322	538,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,423	414,298
為替換算調整勘定	△573,955	85,902
退職給付に係る調整額	△110,659	60,494
その他の包括利益合計	△463,191	560,696
四半期包括利益	50,130	1,098,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,767	1,056,451
非支配株主に係る四半期包括利益	45,363	42,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、富貴(無錫)電子有限公司は持分譲渡に伴い連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	9,176,823	272,839	9,449,662	—	9,449,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,605	308,596	315,201	△315,201	—
計	9,183,428	581,435	9,764,863	△315,201	9,449,662
セグメント利益又は損失(△)	579,305	△934	578,371	7,393	585,764

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,280,275	4,627,241	269,306	9,176,823	—	9,176,823
地域間の内部売上高 又は振替高	3,912,496	3,461,214	—	7,373,710	△7,367,105	6,605
計	8,192,771	8,088,455	269,306	16,550,533	△7,367,105	9,183,428
地域別利益	351,463	225,687	8,870	586,021	△6,716	579,305

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	10,613,646	296,030	10,909,677	—	10,909,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,239	292,906	299,145	△299,145	—
計	10,619,886	588,936	11,208,822	△299,145	10,909,677
セグメント利益又は損失(△)	851,525	△8,994	842,530	13,720	856,250

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,950,793	5,416,668	246,184	10,613,646	—	10,613,646
地域間の内部売上高 又は振替高	4,313,228	3,840,346	—	8,153,575	△8,147,335	6,239
計	9,264,021	9,257,015	246,184	18,767,221	△8,147,335	10,619,886
地域別利益又は損失(△)	529,626	344,470	△527	873,569	△22,043	851,525

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「電子部品」セグメントにおいて、連結子会社P. T. ノーブルバタムの閉鎖の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において74,313千円であり、特別損失の「事業構造改善費用」に含まれております。

3. 補足情報

製品別販売実績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	3,563,268	37.7	3,979,109	36.5	111.7
可変抵抗器 (千円)	1,896,947	20.1	2,021,966	18.5	106.6
固定抵抗器 (千円)	1,376,059	14.5	1,696,781	15.6	123.3
その他 (千円)	2,340,546	24.8	2,915,788	26.7	124.6
小計 (千円)	9,176,823	97.1	10,613,646	97.3	115.7
その他					
その他 (千円)	272,839	2.9	296,030	2.7	108.5
小計 (千円)	272,839	2.9	296,030	2.7	108.5
合計 (千円)	9,449,662	100.0	10,909,677	100.0	115.5